

3 ヒダサンショウウオ

(サンショウウオ科)

兵庫県ランク:B

Hynobius kimurae

環境省ランク:NT

種の概要

日本の固有種で、関東地方から中国地方にかけて分布。アベサンショウウオやカスミサンショウウオに比べより山地性の傾向が強く、標高1500mを越える場所にも見られる。成体は全長100～180mm程度。鋤骨歯列は深いU字型。背面は紫褐色で黄色の斑点があるが、腹面には斑点はない。尾は側扁せず、円筒形に近い。



県内における生息状況及びその他特記事項

山がかった場所の溪流近くのがれ場や落ち葉の溜まった場所に見られるが、カスミサンショウウオに比べると生息範囲は限られ、生息密度も低いと思われる。

写真提供: 田邊 真吾

保護上の留意点

山間部の溪流周辺での砂防堰堤の設置や森林伐採といった開発行為に伴い、優良な生息環境が狭まっていると思われ、今後こうした人為的操作の厳しい制限が強く望まれる。

県内分布

神戸市、多可町、姫路市、宍粟市、神河町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	△
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	△

